

学籍番号 18ET023
 学生氏名 伊藤 あゆみ

交換留学報告書

留学が修了致しましたので、下記の通りご報告いたします。

記入日：西暦 2022 年 7 月 1 日

事項	摘 要		
留学先大学名・所在地	国名：大韓民国 大学名（和名）：檀国大学 所在地：大韓民国京畿道龍仁市水枝区竹田路 152		
留学先の学部・学科	音楽・芸術学部 陶芸学科		
留学期間	2022 年 2 月から 2022 年 6 月まで。1 学期間		
帰国年月日	2022 年 6 月 20 日（飛行機到着日）		
渡航時点での学年	4 学年		
卒業予定年	2022 年 9 月		
留学費用概算	宿舎費	¥145,000	光熱費含む
	教材費	¥7,000	
	食費	¥50,000	自炊・外食・旅行時の食費 1 ヶ月平均
	海外保険費	¥40,500	
	渡航旅費	¥52,000	
	渡航準備費	¥62,000	
	隔離費	¥80,000	
	PCR 検査費	¥39,500	出国・入国時合わせた金額
	合計 約 476,000 円		
滞在形態	滞在先形態：大学寮		
	部屋種類：相部屋（2 人部屋）		
	滞在先名・所在地：大韓民国京畿道龍仁市水枝区竹田路 152 雄飛ホール		
	家賃月額（現地通貨）光熱費込み：₩480,000		
通学方法 （キャンパス外の場合）	食費目安（現地通貨）		
	カフェテリア：₩10,000		
	外食（レストラン等）：₩10,000		
	学生食堂：₩5,400		
奨学金	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> その他（ ） 交通費：¥ （ <input type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 定期 <input type="checkbox"/> 往復）		
	名称：		
	支給額：	（約 円）	

- ・パソコンで入力し、留学後 1 ヶ月以内に国際交流支援室担当者へ提出すること。
- ・「交換留学制度単位認定願」（様式-派遣 4）を添付すること。

	名称： 支給額： (約 円)
海外保険	保険会社名：東京海上日動火災保険株式会社 保険料：¥40,500
渡航関連	渡航経路：往路 成田国際空港～仁川国際空港 復路 仁川国際空港～成田国際空港 所要時間：往路 約3時間、復路 約3時間 航空会社：往路 アシアナ航空 復路 大韓航空 費用：往路 27,660円、復路 24,340円、合計52,000円
予防接種・検査	予防接種名：モデルナ 検査場所：大韓民国 費用：¥0 検査名：肺結核検査 検査場所：クリニック21 費用：¥3,200 検査名：PCR検査 検査場所：鳴原クリニック 費用：¥27,500 検査名：PCR検査 検査場所：大韓民国 費用：¥12,000
感想・アドバイス	<p>留学動機：</p> <p>韓国語でのコミュニケーションを通して韓国語能力を向上させたかった。また、大学生活や韓国での暮らしを通して韓国の文化を学びたかったため。</p> <p>檀国大学での学びを今後の人生や保育に生かし、幅広い視点で物事を考えられる人材になりたいと考えたため。</p> <p>留学準備（大変だったことなど）：</p> <p>コロナ禍での留学準備だったため、海外向けのサービスが衰退していたことから、銀行で外貨両替の取り扱いが無かったり、海外渡航時のSIM取り扱いが少なかったりした。また、ワクチン接種証明書の英語版を用意し、PCR検査を受けなければならないなど、コロナ禍での留学だからこそ、一筋縄では準備が出来ないことが多かった。</p> <p>留学先大学、寮、学生の雰囲気や設備について：</p> <p>大学の敷地がとにかく広いが学校内を市バスや学校のバスが通っているため学生は移動がしやすい環境であると感じた。大学内には池や公園・バスケットコートがあり緑が感じられ、活力も感じられる雰囲気であった。カフェもあり、ゆったりと過ごせたり、学習スペースも多数あり集中して勉強できる環境が整っていた。また、学校発でソウル方面行きのバスが多数あるため、ソウルとの交通の便も良かった。</p> <p>学生寮は、ウンビホール・ヘンボク・チプチョンジェ3施設がある。ウンビホールの場合は、ワンルーム2人部屋で、ベッド・机・ロッカー・冷蔵庫がある。公共スペースにはウォーターサーバーがあるため、水の心配は必要ない。狭い部屋なのでプライバシーがほとんどなく、ルームメイトとの関係維持には努力が必要だと感じた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

- ・パソコンで入力し、留学後1ヶ月以内に国際交流支援室担当者へ提出すること。
- ・「交換留学制度単位認定願」（様式-派遣4）を添付すること。

留学先の文化・習慣の違いを感じたこと：

交通費が日本に比べたら安い。バスは、前から乗って後ろから降りる。(日本とは逆) 乗客が乗った時点で着席を待たずに発進するため注意が必要。

飲食店に行った時に、たくあんとキムチは、おかわり自由で好きな分好きなだけ頂くことが出来る。日本では食事の時は個々で食べたいものを選び食べるが、韓国では、何種類かを選んで頼んでみんなで共有して食べるため、気持ちを共有できるが、コロナ禍では一人がコロナに感染したら、一発で濃厚接触者になってしまうので、時と場を見極める必要があると考える。

留学先での健康管理・食生活について：

学生寮にジムがある。また、学生寮から講義室までの距離があるのと、学校が山を切り開いてできているため急斜面であるので、自然と歩ける(歩かないといけない)環境になっているため運動面の心配は必要ない。また、学校の中心広場にはバスケットとバドミントンコートがあるため、ボールやラケットの準備は必要であるが、自由にバスケットやバドミントンが楽しめる。

部屋にキッチンが無いので、自炊は難しいが、公共スペースにはレンジがあるためレンジで調理するタイプのものであったら自炊可能である。私は外食がほとんどであった。お昼は学生食堂が開いているため、そこで栄養バランスのある食事が取れる。また学校の近くには美味しいお店が沢山あるため、好みに合わせて食事を楽しむことが出来る。また、とんかつ屋・うどん屋・海鮮丼など日本食屋さんも多数あり、日本食が恋しくなったらすぐ食べることもできる。



授業内容、課題、試験について：

韓国語を学ぶ授業で初級の授業は、ハングルが読めて簡単な単語や文法を知っていたら、教授は写真を提示したり、簡単な表現で伝えたりして下さるため、楽しく理解しながら授業を受けることが出来ると考える。韓国語中級レベルの授業は、韓国語をある程度(日常会話程度)知っているだろうという前提で進められるため、勉強を事前しておく必要がある。試験はほとんど選択式であった。

韓国の大学生が受講する授業は、韓国語のみ(担当教授によって言語のサポート有)で進められるため日常会話ができ、専門的な単語も聞き取り理解できるくらいでないと、受講は難しい。課題も言語の授業に比べて圧倒的に量も多く内容も難しい。だが、授業を通して韓国の友人と出会えるため、勇気を出して一歩進む価値はあると考える。試験は、日本と同じく授業によって様々である。陶芸の授業では、実際に作品を作り教授の評価を受けるのが試験であった。

学外活動について：

竹田キャンパスは、バスで1時間の距離にソウルがあるため、ソウルの街散策は思いのままできた。また、近くには水原という歴史的情緒を楽しめる街や、エ

- ・パソコンで入力し、留学後1ヶ月以内に国際交流支援室担当者へ提出すること。
- ・「交換留学制度単位認定願」(様式-派遣4)を添付すること。

バーランドというテーマパークがある。また、竹田駅から烏耳島という海まで 2 時間かかるが電車 1 本で行く事ができるため観光も十分に楽しめる。私は、京福宮に韓服を着て行けたのが、韓国の伝統的な文化に触れることができとても印象に残っている。



日本から持参するとよいもの：

薬は持って行って良かったと感じた。韓国でも薬を買えるが、体調を崩した時に慣れ親しんだ薬があると精神的にも安心材料になると考えるため、持参をお勧めする。

また、食品類も用意があると良いと感じる。特に味噌汁は、慣れない土地で気を張っているときに飲むと、ほっと一息ついて安心できるため、持って行って良かったなど考える。韓国でも日本のお菓子を購入することはできるが輸入品のため高額で販売されている。日本からお気に入りの物は持参すると恋しくなった時にすぐ食べられるし、韓国のお友達や海外の友達に渡したら、仲良くなるきっかけ作りにもなるためお勧めである。ふりかけ「のりたま」やカップヌードルは韓国でもおいしいと有名らしく渡したらとっても喜んでいたので渡して良かったと感じた。

留学を志す後輩へ：

留学は勇気もお金も必要でなかなか一歩が踏み出せないですが、踏み出してみたら想像もできないくらい楽しいことや面白い経験が出来ます。また、難しいと思っていたこともやってみたら出来てしまったり、できると思っていたことも始めたら難しく葛藤したり、新たな自分を見つけることが出来ます。

留学では、現地の友達だけでなく、様々な国からも集まってきます。そのため日本に居たら絶対に出会えない人とも仲良くなれる機会が待っています。その経験の中で人生における良い学びができると思います。私は留学に行って良かったと思います。



※留学の報告書をまとめたものを本学のホームページに掲載します。

以上

- ・パソコンで入力し、留学後 1 ヶ月以内に国際交流支援室担当者へ提出すること。
- ・「交換留学制度単位認定願」（様式-派遣 4）を添付すること。